2022年12月現在

新たな日常に向けた教育研究・大学運営について実施している取組

本学は、新型コロナウイルス感染症の見通しが明確でない中においても、感染対策を講じつつ、学生に質の高い教育環境を提供しており、新たな日常に向けた教育研究・大学運営について次のアからエに掲げる取組を行っています。

項目		取組	
ア	学修支援体制の強化に資する取組み	1	学生・教員へのオンライン授業にかかる支援体制の整備
		2	感染状況を踏まえた授業実施や学生罹患時等にかかる欠席の扱いの指針の策定、運用
		3	オンライン授業のための学内環境の整備・見直し
		4	学外からの図書館利用の利便性向上
		5	学修上の学生ニーズの調査及び把握、調査結果を踏まえた支援策の検討・見直し
		6	新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず欠席した学生への追加的学修支援
イ	学生支援の強化に資する取組み	1	対面を前提としない学生相談（支援）業務の実施
		2	学生相談体制や学生支援に係る広報活動の実施
		3	学生の健康管理に関する情報発信・注意喚起や罹患時対応に係る情報発信
		4	学生の心身をケアするための専門人材の整備
		5	学生同士のネットワーク化を支援する取組
		6	学生支援上の学生ニーズの調査及び把握、調査結果を踏まえた支援策の検討・見直し
		7	学生の課外活動における感染症拡大防止等に関する大学等としての取組みの実施
ウ	地域貢献に資する取組み	1	地域貢献活動のオンライン等の活用や感染症対策を実施した上での継続的な実施
		2	新型コロナウイルス感染症に係る研究・調査等や大学等の専門的知見を活用した地域への情報発信やアドバイザリー
		3	その他大学等の教育研究力を活用した地域との協定や依頼等に基づく地域と連携したコロナ禍における地域貢献活動
エ	大学運営の高度化に資する取組み	1	すべての教職員を対象に在宅勤務・研究や時差出勤、特別休暇等を定めた規程等の整備
		2	感染状況に応じた業務継続のためのガイドライン等の策定、運用
		3	情報セキュリティを担保しつつ、出勤時と同程度の業務が行える在宅勤務・研究体制の整備